

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-540810(P2009-540810A)

【公表日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-515829(P2009-515829)

【国際特許分類】

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

A 0 1 G 9/14 (2006.01)

A 0 1 G 13/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 G 7/00 6 0 1 C

A 0 1 G 9/14 S

A 0 1 G 13/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月10日(2010.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 種又はそれより多くの顔料又は染料を、温室用フィルム又はガラス或いは小トンネルカバー、遮光ネット及びスクリーン用フィルム又はフィラメント、マルチフィルム、幼令植物の保護用の不織物又は成形物の形態にある熱可塑性又は架橋されたポリマーに配合し、

そして植物を、熱可塑性又は架橋されたポリマーを通して又は該ポリマー上からエネルギー線に晒すことにより、農業用途においてバイオマス生産を増進させる方法であって、
a) 得られた、380 nm ないし 450 nm の範囲内の平均光強度変化 (L I V) が、次式：

$$\left(\text{L I V}_{410-450} - \text{L I V}_{380-410} \right) / \left| \text{L I V}_{410-450} \right| = \left\{ \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{410-450} - \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{380-410} \right\} / \left\{ \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{410-450} \text{の絶対値} \right\} - 0.04 \text{で表わされ、}$$

b) 得られた、410 nm ないし 500 nm の範囲内の平均光強度変化が、次式：

$$\left(\text{L I V}_{410-450} - \text{L I V}_{450-500} \right) / \left| \text{L I V}_{410-450} \right| = \left\{ \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{410-450} - \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{450-500} \right\} / \left\{ \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{410-450} \text{の絶対値} \right\} - 0.15 \text{で表わされ、そして}$$

c) 得られた、420 nm ないし 450 nm の範囲内の平均光強度変化が、次式：

$$\text{L I V}_{410-450} = -0.90 \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{410-450} - 0.10 \text{又は} +0.05 \left[\left(I - I_0 \right) / I_0 \right]_{410-450} + 0.50 \text{で表わされ、}$$

前記各式中、

それぞれの波長範囲における I_0 が、波長間隔を乗じられた、顔料を含まない試料の範囲における平均光強度変化を表わし、

それぞれの波長範囲における I が、波長間隔を乗じられた、顔料を含む試料の範囲における平均光強度変化を表わす、
ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 1 種又はそれより多くの顔料又は染料が、前記熱可塑性又は架橋されたポリマーの質量に基づいて、全体として 0.01 質量%ないし 2 質量%の量で配合されている、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記顔料が、モノアゾイエロー顔料、ジアゾ縮合顔料、アゾレーキ化又は塩顔料、金属錯体顔料、金属塩顔料、イソインドリン顔料、イソインドリノン顔料、アントラキノン顔料、アントラピリミジン顔料、キノフタロン顔料及び他のヘテロ環顔料からなる群から選択された黄色顔料である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記顔料が、C. I. 顔料イエロー 184、C. I. 顔料イエロー 93、C. I. 顔料イエロー 95、C. I. 顔料イエロー 168、C. I. 顔料イエロー 68、C. I. 顔料イエロー 183、C. I. 顔料イエロー 109、C. I. 顔料イエロー 13、C. I. 顔料イエロー 62、C. I. 顔料イエロー 199、C. I. 顔料イエロー 110、C. I. 顔料イエロー 128、C. I. 顔料イエロー 180、C. I. 顔料イエロー 155、C. I. 顔料イエロー 151、C. I. 顔料イエロー 215、C. I. 顔料イエロー 138 又は C. I. 顔料イエロー 139 である、請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

紫外線吸収剤、立体障害アミン光安定剤、フェノール系酸化防止剤、ホスフィット又はホスホナイト、帯電防止剤、加工助剤、充填材又は強化材及び防曇剤からなる群から選択されている少なくとも 1 種の更なる添加剤が、前記熱可塑性又は架橋されたポリマーに配合されている、請求項 1 記載の方法。